

賀川豊彦活動開始100年

日本を代表する社会運

動家、賀川豊彦（188

8〜1960年）の文学

者としての歩みを展観

し、賀川を支えた仲間と

の手紙などを展示する企

画展が17日、神戸市灘区

王子町3の神戸文学館で

始まる。1947（昭和

22）、48（昭和23）年に

ノーベル文学賞候補に選

ばれた賀川の文才ぶりを

知ることができる。

賀川に関する文学企画

展は、昨年11月に続いて

2回目。神戸のスラムに

入り、救貧事業を始めて

今年で丸100年となる

自筆記録や手紙紹介

きょうから 初公開資料も
神戸文学館



のに合わせて開く。

賀川が米国留学中の15

（大正4）年、ニューヨ

08（明治41）年に、島

川の活動を支えた仲間と

で。無料。休みは12月28

（河尻 悟）

1クから妻ハルに送った 崎藤村を訪ねた時の自筆 やりとりした手紙や絵は 日〜1月4日と毎週水曜
絵はがきは初公開。スラ 記録や、米国留学前、ス がきも初公開される。（ただし、12月23日は開
ムを舞台にした小説を ラムに住んだときに書い 企画展「賀川豊彦の文 館、24日休館）。神戸文
「暇をぬすんで書きたい」 た日記も展示。武内勝や 学―神戸・仲間たち・神 学館☎078・882・

①スラムに住んだときの直筆日記や仲間との手紙が並ぶ

②米国留学中の賀川が妻ハルに送った絵はがきの文面＝いずれも神戸文学館

